

沖縄県那覇市から東へ約9kmに位置する与那原町。これまでの本庁舎は築42年が経過し建物、設備の老朽化に加え、多様化する行政サービスへの対応などの課題を抱えていました。そこで新たに庁舎と町民ホールとの複合施設を計画し、2021年春に竣工。照明は全館LED器具を採用し、省エネ、省メンテナンス性を実現しています。

「ひと・行政・文化」の縁をむすぶ与那原タウンホール、というコンセプトのもと庁舎と町民ホール（保健センター含む）の複合施設として誕生。コミュニティの中心としてすべての住民に開かれ、ユニバーサルデザインにより誰もが利用しやすく、住民サービスも向上しています。また環境への配慮のほか、災害時にも事業継続性を有し、防災拠点としても機能します。



【物件概要】
所在地：沖縄県島尻郡与那原町字上与那原16番地
敷地面積：8,510.86㎡
規模・構造：RC造+S造、庁舎4階建、複合施設2階建
延床面積：7,963.72㎡
施工：与那原町役場
設計：梓・国吉設計事務所JV
施工：建築/（株）照正組・（株）仲本工業・（株）共立実業JV
（行）電気/（株）東部電気土木・（株）那覇電工・高里エンジニアリングJV
竣工：2021年3月



2階 執務室のTENQOOシリーズ直付形①による照明。

各スペースの使用目的に合わせたLED器具を配置し、快適な照明空間を創出。

約200名の職員が使用する1階から3階の執務室は最も使用時間が長いので、器具交換が容易なTENQOOシリーズ直付形を採用し、照度は750ルクスを確保。色温度は作業効率を高める白色（4000K）を採用しています。また1、2階の北側執務室は広く窓に面しているため、あかりセンサーにより自動調光し、省エネを図りました。このほかTENQOOシリーズ直付形は会議室や書庫など多く採用されています。1階の町民ラウンジは人が集うスペースであることから、サイン壁の壁面

照度をアップさせるユニバーサルダウンライトを配置し、対面の琉球石灰岩の壁面は間接照明であたたかみのある空間を演出。3階の町長室、副町長室、委員会室などは埋込形のTENQOOシリーズスクエアタイプを採用し、照度を500ルクスに設定して格調ある照明空間を創出しています。さらに駐車場は通路や出入口付近の明るさを重点的に確保し、JIS基準により平均照度は5ルクスを確保。周辺への光漏れと意匠性に配慮し、4.5mのポール高にLED小形角形投光器を設置しています。



TENQOOシリーズ直付形①



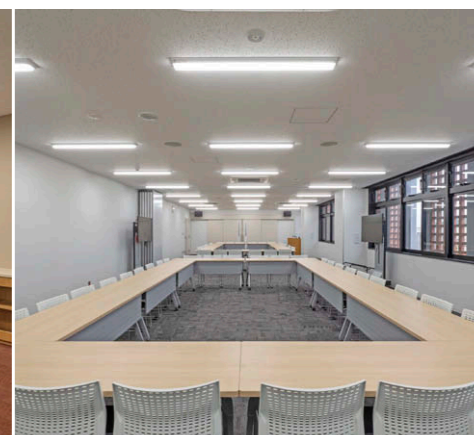
（左）TENQOOスクエアタイプ④
（右）LED小形角形投光器⑤



1階町民ラウンジ 入口から見たLEDユニバーサルダウンライト②とLEDライン器具③による照明。



3階副町長室 TENQOOスクエアタイプ④で格調ある照明空間。



3階会議室 TENQOOシリーズ直付形①による照明



駐車場 LED小形投光器⑤による照明。



複合施設外観 薄暮の複合施設全景。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品名)	形名	台数	備考
屋内	① TENQOOシリーズ40タイプ直付形	LEKT412693N-LS9	181	消費電力：43.0W
	② LED一体形ユニバーサルダウンライト	LEDD-15023WWK	12	消費電力：15.2W
	③ LEDライン器具	LEDL-12501WWLD9	15	消費電力：29.0W
	④ TENQOOシリーズスクエアパネルタイプ	LEKR745651FN-LD9	65	消費電力：35.5W
屋外	⑤ LED小形角形投光器（重耐塩仕様）	LEDS-04907NX-LS9-KAI	12	消費電力：40.0W